事變に現はれた

ですらて配ん全く撃明総然に繋返った成て迂順兵脈の上陸後二十年出

ても歌然さらて立ち一度風したる ても歌然さらて立ち一度風したる

したのである。日本軍は何被斯く

第一は我日本國以外に類似

は糖目に格ける職の娘と解補され」が発見をは我皇軍の歌励な信念の前に

我國民銃後の力

(上) 降軍省徵臺課長 松村 正員—

大田 年高繁が伸びだすさお定 だいたのは駆り敷起を取のである。 かの臓聴者は飛んでもない誤解 本元の日本人できへも何厳け本事 の臓聴者は飛んでもない誤解 本元の日本人できへも何厳け本事 はこれ程強いのだらうかさ能ら反 なかった、賦米人はもこより本家

を見ないものがある、部を戦でも を見ないものがある、部を戦でも を歴史に悪く天後無線の御機酸の を変し、これである、他のて我軍隊に布りて もが世界に競るべき品軍の意識が

して五緒様の河側を帯じて淬動

歩せ無器なる統領の力さである 第二は我國長の國防観念の

新りの安都一流の内配が縮まる、 地の一流の内配が縮まる、 地では近ふぞさいふ事であった。 が変度と観響の整定がある。 地では近ふぞさいふ事であった。 が楽し組めた。 が楽しに変がある。 世の東北軍機を作し転が結まる。 かさは近ふぞさいふ事であった。 でもない。 像日では近ふぞさい。 の日本軍が終ける。 かさは近ふぞさい。 がかまして、 の日本軍が終ける。 かった。 のった。 。 のった。 のった。 のった。 のった。 。 のった。 。 のった。 。 のった。 。 のった。

湯玉麟の代表語る

日本軍に對する

【東京二十二日發】 拓和省は四頭 【東京二十二日發】非常時處村點

| 第の第二次代表孟昭田は左の| 平二十二日發】最近水平せる

が點在し電境は山岳東橋とて天然の要塞が為してゐるから充分

日つ省境近くに砂漠地帯 管水津少佐は本庄鵬東軍司会官の 深崎兵八歳あり各地の民間 (北平二十二日費) 公使館陸軍武 うてれば十萬以上の兵備が 「電水津少佐は本庄鵬東軍司会官の 「張」といる。 「東」と所は日本軍無河に侵入 「京」を見、「東」と所は日本軍無河に侵入 「京」を見、「東」と所は日本軍無河に侵入

治統一総は大概左の知さるのいや官會議で大概一致した滿洲四頭政官會議で大概一致した滿洲四頭政

は と 所管事務に関心外務、 拓特 网 名の監督が受ける
「 関東長官が兼れる場合は軍務以
外の場合は行政官としての取扱
外の場合は行政官としての取扱
た受く

、大使の下に内務、領海、警務

交を整理と際語に通附する部代は二十二日午後の大官會語で窓

まさら軍務以外において大使な 会舗總監)を置く、之は親任交 全権大便の下に事務總長(原一

派す(原実は特派機監)

學良の日本牽制策

干リ

『北平二十二日景 制御方面の事 ちふためである事勿論であるに抱: ・ 大武力流浮を放送してもるが、荷 の行動な悪印象づけんさするもの を武力流浮を放送してるが、荷 の行動な悪に対する日本軍 としめ難遇さなつて日本軍に對す 粉綱せらのて職器に對する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対する日本軍 に対するのでであるが、 である

の た調査するだめであるさ 単 無概はとは本日午後五時北平教示なた。な ほ同少佐は本日午後五時北平教示ない。な を ほ同少佐は本日午後五時北平教示ない。な を ほ同少佐は本日午後五時北平教示ない。な を ほ同少佐は本日午後五時北平教示ない。な を ほ同少佐は本日午後一時リッ

滿洲國移民

積極化協議

全國農會が 農村救済を叫ぶ

焦慮

界 木 鈴 人行费 治代惠本福 人納網 盛 武 村 本 人劉邱 地番一卅町棚公東市運床 針報日淵滿社會式練 所行

印刷服

市内敷品町青年倉町において)

津浦線はカラ空きの状態となり山東の韓復々と或種の協定を結ぶ必要に迫られ飛飯を續げて來たが、本津浦線はカラ空きの状態となり山東の韓復々と或種の協定を結ぶ必要に迫られ飛飯を競弾後継に移動したので、國内は勿論全世界に出鱈目な逆宣傳を飛ばし自己の地能無違に汲々さし軽度、大津二十二日数 | 熱河方面の形態は目下小廃を保ちつ、あるが、暴良は同片さいふ金藏を持つてゐる熱沖超に 膝元の 河北の地 の支那紙は韓復集が二十二日清南登北上する旨報じて居り庭と陳者會見の 韓と會見 上何等かの雑法を除す

湯は滿洲國に無誠意 貴重品を天津租界に運ぶ 臨時議會直前帝國整會、全國市町一あげる事さなつた策の政府の施設手続しさも第三次一村農會全國的に農村救濟の呼びを 滿洲國參議候補

祖界薬所に進んで來た、之によつて見るも湯玉饒は完全に夢にるるが萬一を慮ばかり昨日自己の融前二名(大佐一名、少佐一名)に 日己の副領二名(大佐 洲移民の積極化を聞るため場次前政治統一報も近く覚現するので浦

ものと認められて来た

及の手に丸め込まれて居り滿洲岡に黙・ 理衛長二十名をつけ貨物自動車八蔵に財頭品な滿級・

湯玉麟を威嚇

護衛長二十名かつけ監論を前して統二を経営・たち、というであるが常一を慮ばかりて共津二十二日登」熱河省主席鴻玉麟は目下永徳に三個版を擁してゐるが常一を慮ばかり

がの事項は今後外務務務医軍三省とて後移民蝦其他移民に関する一とて後移民蝦其他移民に関する一 を交換する處めつた、その結果先

交通顧問 工業顧問 東顧問さらて各方面の権威者さ交

大権観者である大権観者である なる大品博士は関工者の燃料研究

「東京二十二日費」會認のため滞 京中の經濟道府解町村長會長以下 全画町村長一同は午後三時襲相の 経常により農林大中官駅に無無 を選手を開き、更に午後四時から省。 招待 閣僚の町村長

【東京二十二日登】滿洲四頭政治 整合、元満銀副社長松本森治博士 統一窓は近く継まると舞られるが 場合、元満銀副社長松本森治博士 關東軍の顧問に 藤根、大島兩氏決定

永田氏又は松本氏

會の議 聯盟審議

徵收

既にアグレマン要求

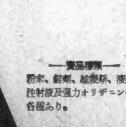
木 五 (51)

資格を 國研交

ガ

0

消化不良に因する總での胃腸疾患、無力性胃弱 結核其他慢性病者、重病恢復期等荷も食 を亢進し消化を佳良ならしめ榮養の増進を欲す 總での場合に賞用せらる



粉末、錠劑、粒製斯、液劑、 性射液及強力オリザニンの 農學博士鈴木梅太郎氏發見 ヴィタミンBの世界的始祖

脚氣一般並に重病經過中、例へは腸チフス、肺結核

オリザニンは毎製品生物學的試驗により力價を檢定し、 效力常に一定確實なるものなり

東京室町三共株式會社 大阪・臺北・經濟

百名を突破

廿一日現在滿鐵調查

沙河口市場

野菜消毒

滿洲測地口

松山博士ら來る

報告書は地圖の材料

コレラの脅威

南季と共に益々猖獗

大場外の資行 を探りの自動車が米園跡を眺へしながらの十時まで大量さなつて膨いて、 を探りの自動車が米園跡を眺へしながらの十時まで大量さなつて膨いて、 を探りの自動車が米園跡を眺へしながらの十時まで大量さなつて膨いて、 を探りの自動車が米園跡を眺へしながらの十時まで大量さなつて膨いて、 の自動車が米園跡を眺へしながらの十時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中時まで大量さなつて膨いて、 の中は、これで村 源で影响の短くオリ門前 がの形し、解説は聴から

も前哨戦展開

元元元 違 大

大阪 清津間

航空標識燈を

州境に建設

の能可を得八月一日から連絡の一粒織さらての影響をの一粒織さらての影響を 八月一日から

夏の感冒は

型とく使き、大好評です。 ラシン』を召上れ、ピックリする。 ラシン』を召上れ、ピックリする。

内地警官勤務は

八時間制を勵行

保險放火求刑

で多数の順保者の見送りを受けて は世二日出版の定跡職にるびん丸 は世二日出版の定跡職にるびん丸

立山附近の

匪賊擊退

一中選手出發

た逮捕

七名は数論中田藤次郎氏

受着に於ける御前試合を終へ世界京島出職監軍一行は二十一日

機の結果炭疽さ州明同薯では直に一般の結果炭疽さ州明同薯では直に 乳牛に炭疽

10

原園林病にしける しけ湯

> 設造製薬膏の脂的能効 弊局製劑 蒸餾水は毎日採 伊 大特 勢 風 町 藥局

コニバサル 三三 大四

りよ時一後午(日)日四十二(土)日三十二 ルー木階三越三 トーサンコドーコし 踊舞會女少鈴銀云

社會藥毒本日

りょ時九夜日曜土週毎 フールルテホトマヤ 装炭大 イテーパグンシンダ 錢十五 料場入

りょ時九夜日曜土週毎 ルテホトマヤ 臺金黄 イテーパグンシンダ 袋十五 料場入

選手の練習を見てるた例

事典動

殺人未遂求刑

けふまた來連

工業化學會員

肺

病 かっ 生きます。 ・ はいます。 ٤ 再生

軸研究所を御訪れ下

秦 記科 生 地 世 二 一 町 秋 岩 市 連 大 (前 妹 医 男 湯) 院 醫 科 歯 森 藤

田康士、孝吉 の所紙がつけられ野帯駅長の他でで表見せる古 鬼を有する開電的機能あるもの 復讐戦を目差して燃ゆる闘志 二宫宗太郎六段 Giá 柔道大試合前記

全満軍か學生軍か

學生見學團

よって意民隊では非常に色めき立ち同人の自自な意

至滿の精鋭 を集め

宮城子の古墳を

永久に保存する

料金をごり觀覽制限

京大今野教授が殿書模寫

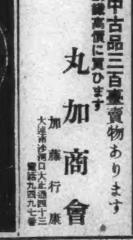
夏亥那服地新抦豐富着荷 交精腦 6 0 洪來盛吳服

これで治った天下の お祖父様もお父様も

盤設 督計 三色なか 横井

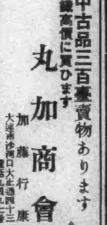


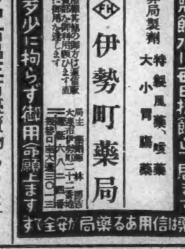


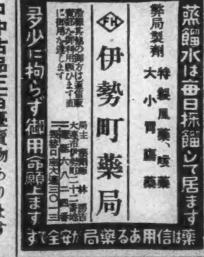


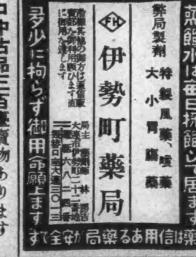
関東京本郷教育女際洋裁科 村科豊富神士屋池舞科賞県専川星 ・ シン洋裁建教授













の記を数

◆ 個→

第結冠米音米米の 同一一同本系 本升 同 五五五

性冠は宮内省の御用達酒

専門

櫻井内

科

で

「相響らずお早い事がや。いつで

はないませう?」
「なるほご」
「他のいのがが、ごうやら事態を教したらしく、同意びがなければないがらわたくしざら、からのない。ながらわたくしざら、からのない。ながらわたくしざら、からのない。

見よ!此の激賞

一度お會ひなすつては如何でござー度お會ひなすつては如何でございます。あらけれるを響子でございます。あらけれるを響子でございます。あら

新新棋戰(英方

CURIOUS

夜が更けて、この

月照で信仰がほがらかに笑った

施田大連線場に来滅して五日間されると、今後は高度の療法を避けた漁門を強って五日間という。 一は高度の療法を避けた漁門等の花が、東京の大會へ急ぐためで息に出滅せず本日入港の大き、 地でできまし、今夜は豪原路和駅に 出流して廿三日夜は一日際りか河の大連 は一日の場でであることになったが、入 壽々木米岩 明夜沙河口劇場

さはないが、天下人勢し、何處如わからね。愉快ちや」

長院病原吉廓遊原吉京東前

協和會館映畵

醫學博士 向井又吉先生日~

醫學博士 西鎌一郎先生曰く

勞働者診療所長 ドクトル 馬島

涇連日大好評!

其他色々

アモアー赤西香水

行 言うとなっているというというというないというというできる。 最 夏 柄 服 生地を御分賣致し 地 山場婦 子供服力 荷 九番



五四二十十十

T.7

イゼ町



電話セミ六六番



七赤毛染

本品の大特 おり、数がしませず











債券專業

洋



◆九州帝大旭博士發表

南京虫、蚤、

退治には屹度猪印を!! 蝇、 種各

臭蟲立斃樂粉 電型公安立 四人公番

||市場問題||

補償の性質と算定基礎

人詰に近づいた~

際に影響を繋へてゐるので

移って来る、これは単に満洲に を る、現在日本内地官感が眼先のことの は日本内地官感が眼先のことの は日本内地官感が眼先のことの は日本内地官感が眼先のことの は日本内地官感が眼光のことの は日本内地官感が眼光のことの は日本内地には人口に伴 か如く米が出来るかと云ふわけ でないから満洲画で安い米が出 来るならその方へ自然に需要が

具合に 解決した、消滅さし ても不満はあるが副機裁もいは れる通り航に政治問題さなり政 的の懇請もあつたので損失を忍

で達げた十河浦最西事工物念無機 で達げた十河浦最西事工物念無機

は織り日本農村のみの問題でな

日滿經濟の統制

政府に進言する

十河滿鐵理事入京語る

満洲農業作物の選擇

の 会本 我々が満洲で映画すること でも繋糸業の短きは水不足で起 の事ないこ思ふから日本内地な

へ連商議から

の建議

鮮銀券發行制度改革と 石炭輸入制限撤去

長井・日本ばかりではないが兎に 概念の参考資料は篠崎書記長の年 特別安炭な輸入せんさせば清澈の地への大工、左官を驅逐した (株式の参考資料は篠崎書記長の手) 特別安炭な輸入に大きに大き、大変左の近き建設で、両じて石炭輪入部隊、地・大変をの作。満洲に於ける振順炭が内地になければならない た要左の近き建設文を開密を要路 地・で 連絡では、一、大変左の近き建設文を開密を要路 地・で 選絡である (本語の件 満洲に於ける振順炭 (本語の件) (本語の作) (本語の件) (本語の作)

の問題が契機さなつて目満郷の問題が契機さなって上海の統制の念務であるここをである、經濟調査委員会のはほ長へな上に認識させた効果は長大な上に認識させた対象は長大な上に認識させた対の意見を用めては良く職合會の意見を用めては良く職合會の意見を用めては良く職合會の意見を用めては良く職合會の意見を用めては良く職合會の意見を用めては、 不年の大道に従ったである、天下の大道に従ったである。天下の大道に従っても

六月末全滿

金組業績

男八千八百十六 圏域、村家組 月に地較すれば渡り金都市組 四十七圓さなつてゐる、これ

三家さら同一率さなつてゐる純利。
「新教二分、神統率」一分と推定して
「新教二分、神統率」一分と推定して

京都の強き

大豆(操物五)八〇五一四〇 大豆(操物五)〇〇五〇九〇 常連(姿物五)〇〇五〇九〇 出來高 三十車 田本高 四萬枚 田本高 四萬枚 田本高 四萬枚 田本高 四萬枚 田本高 四二〇 一四二〇 田本高 四二〇 一四二〇 田本高 一二三五〇 田本高 二十車

サンマーホースタニーは

河酒 部井

明石潮







(六)

一葉 しかし小さい 長井。それはある、ルー

て決定せる ・ 演洲中央銀行特庫物乗業中止 ・ に願する建議 ・ 定数一部改正

人會員報告ありて美議なく入會を

原 議の件、異議なく承認 の役員會に新に挿入した同規程 の役員會に新に挿入した同規程 かたる所却下をれた故該條文は削 たる所却下をれた故該條文は削 に認可申請し にがして、過程

貸出預金共增加

◆・これが具像化して国民の常金要するが、そんじよそこらの報告をするが、そんじよそこらの報告をするが、そんじよそこらの報告を対して、 況(世日)

産

大豆續落

五六

大全四平街 一三車 高架 經報 一三車 高架 經報

各地特產發送高 本開原 《公主演 大豆 一六車 大豆 一車 高梁 一車 高梁 一車 電報 — 超報 一車 電報 — 超報 一車 大豆 八〇車 大豆 八〇車 大豆 八〇車 大豆 八〇車 大豆 三車 高梁 一車

旅日本版 秋

廿二日より廿四日まで

・・・上村部子助演の一作品を表情の下町情話を表情の下町情話を表しています。

関方續騰す

料今 演主氏ロアヴナ・ンモラ金週 海カリメア(篇朗明春青) 戦中空い凄物の助援省軍

大連商議

推廣すれば」の誤りに ・ 以ははになる」は「 ・ 本後は指になる」は「 ・ 本後は指になる」は「 ・ 本後になる」は「

定時總會

◆…田来日本人が日来のみた常舎」 さするは繁深であり、若しこと に高粱を混じて園民の常食たられ

林 出來不申

鐵 株(保合)

銀 「記述 「「公門名元」 金 岩文枚 「「公司"「公司"「「公司"

等所直接 三留比5分0 等筋直接 三留比5分0

I o

優待券欄 大連劇場

色! 色版

渝

國

ファイトの では、コンラッド・ファイト氏・トルウデ・ファイト氏・トルウデ・ファッド・ファット・ファット・ファット・ファット・ファット・ファット

日活のトーキー

二十一日公開

開贈 小人二十**錢** 痙

對する吾人の希望

5

大のないのろうち

滿蒙維新の大業完成に

SEC () D

で が 動談を うけたが 暑いの で れに東京に るた

|||一一|| 「一一|| 「一

人でやってのける忙がしさは全人でやってのける忙がしさは全人であ、それに東京にあたでえ、節



で續々輸送 合線から

『北平二十二日發』張學良軍主力の熱神出動に 州の騎兵族で大場鐵の歩兵一千なら北平附近に移動中で平漢、第二十二日發置張縣良軍主力の熱神出跡により北平影飾手測のため通州の 学良軍熱河出動により 東浦各線とも軍事輸送で大多代で 第1、 電線線宣化の十二版を西花苑に、 海浦

國條約違反か

が着し日本軍進出せば九國條約違反なりとの既定方針を支【ワシントン二十一日登】總河の風雲忽にして日本軍連出の親にワシュー・『 日本軍との衝突に

対代の代析を建てに非でやさの無い により次の如き處置を採ること > 17、各軍版は宣傳物中に激烈な考

張學良、保身の處置

吉氏は本日一場の漢談を貸し

關係閣僚が

滿蒙問題協議

局で緊催中の第廿八回萬國際宝職

軍縮決議案

結局書餅に歸さん

するに日支問題は調査圏の報 率には途感ながら意見を有す 次報告中に日支問題に関する

御職取遊はされた

陸軍關係の 失業救濟事業 追加豫算要求

増資問題は急ぐ必要は無し

門司にて

の情報に左右せらるゝ。人が

政治の要様である。は

正大に、戦に称為の人物を以て其も、簡重に依ちず、政権に囚はれて、戦人人材を天下に求めて公明ないのはれて、戦を大きに対してはれて、戦をはない。 事を取扱い以上、

に心脈し、之が完全に得はれて新い、質嫌のおもことは呼す姿もないの質嫌のおもことは呼す姿もな

覧を入れて訓練を写す 先づ地方に自治を施行し之に指導

大郎氏は二十二日午前九時半込の 定城門 次郎氏 東京二 高須少將逝く

が松岡洋布氏が最も有窓裏されて「特に正確な影響を持つ人物を決定した 塗料 積資立木 文店出張所 美家、北京九ノ内、名古屋、大阪、神戸、下間、 金金 壹億壹千七百參拾萬圓 億 圓 (全額拂込濟) 元毒義洲 **三里**高公共 大四三〇十一八大

【ジュネーゲ二十一日教】佛首相

獨代表に勘説

軍縮決議案

反對撤回

聯盟 特派者人選

意したが現福府顧問官石井瀬大郎 は首根級の政治家を特派するに決 は首根級の政治家を特派するに決 ・ リリ又我全権部介派後として清洲間リリ又我全権部介派後として清洲間リリリ又我全権部介派後として清洲間リリリスを特別する。

政府に邀前すること 委員會は廿二日左の 委員會は廿二日左の

政より進言

機關案

に居焼り

調查團最終報告

中間報告を潤飾し 競手されてるる 競手されてるる のでは、これでは、 のでは、 なるが調査職の立前から管行不能 家資源調查員 商工省から來月派遣

を握て 大郷を決定 廿五日 開係大臣 ・ 後郎決定をなすこさ、なつた

北平十二日費 取機め八月一日頃より委員會の報告を 皆書は本月中に専門委員の報告を 皆書は本月中に専門委員の報告を ではなるが委員館

総報館決策は対表費見は不可能の意味を持合するに結論さして日

日支問題は静觀

調査側の報告書到着まで

職員會議で

內田代表演說

前職にこれが終れた。 にこれが終れた。 にこれが終れた。 がは、 でもよりない。 がいできた。 でものできた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 **広制審議會諮問** 學法改正

東京世二日登 大概省要表=五 計によれば総入十三億二千八百餘 前によれば総入十三億二千八百餘 前

歲入出國庫現計

殊に租税收入減甚し

千萬國前後の新規剩餘金を生する も昭和六年度現計機切に於ては二 があるので今後の総出を差引いて

時に増取を記して**るる** 能に増取を記して**るる** 能に増取を記して**るる** に増取る記述の認証に割るしくな

而して極常部義入滅は九五

見込みであるが大要左の知じ(単

【東京廿二日参】内田外根、荒木 - 北京・田子で行ふ事となり、新一の旨途で解像とを承認し法律憲法の清潔・問題・協議 【東京二十二日委】政府はいよい | 藤首相は二十二日の定機解議でそ 總罷免の 來週中に第一回總會 のため共産常機関紙は黄代不能に

職代表は常分解職するさ

氏はや日朴低の智氏は今日朴低の智

生絲需要增進

調查會官制

『東京二十二日教』既報の外職

關東軍顧問

橋本博士に依囑

度を採ってゐるが 日費】空前のク はゆるオッタワ會職は廿一日より 融配の自由移入の阪皮病説を透慮 たがしカナダのベネット首相はカ 大の影響を娯客せざるイギリス 皮を厳範疇に及ぼすとを認識した オッタワ會議 愈々開會さ 佛政府新郵券發賣 は二十一日より新興度領手な賣出 は二十一日より新興度領手な賣出 失業救濟案に

米大統領署名

グランヂ氏は 大統領は建領二十一億二千二百萬 院を通過し大統領の手靴に悪附さに根否されたものだが修正され解 米四大鐵合同 『東京二十二日養』農株大臣の離野・ 「東京二十二日養」農株大臣の離野・ 「東京二十二日養」

軽管案を可決 日教】州内郡

変大使に低命された、なほ軍権會 グランデ発機は廿一日階を現で駐

駐英大使に

松岡洋右氏 を農相奏請し西国より

【東京二十二日發】滿門問題審議

總會へ特派か

充實の必要を認めて居

1 屋外式 防火裝置專門 **企業以外上 標準 三四九二番**

防火装置の完備は人類最高の福利 スプリンクラー(験談録)装置

個人・開きモリソンミドナルド 者 | 本 | 上海文化界の現状の 素料 | 1九三二年度支那の 事 一般解改元貨幣制度統一 長江商業不振 満洲國文教部組織 中間地設議行 ヌーラン郡放門に 英米對支法動・中間教育界の粉質・中間地設議行 ヌーラン郡放門に F 朱其華

自治指導部の業績 たる大連港の将来(上) 橘

高橋藏相不信

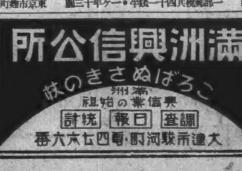
昭和六年度 失業對策委員會

【東京二十二日發】四頭政治統

關係以官會議

間議決定事項【単

司法の



ライト寫眞舘

のケース・プラウン君十三呎十时の新記録か作つて優勝したが此の記録は

オリムピックの精華

棒高飛豫選

鑛產共販制度

特産マグネシウムの處置

米價問題

一河理事より

重要な献策

經濟統制問題表面化

滿洲國電氣事業

國營か委任

学刊 H

報

時日があらう時日があらう

鮮豪米 どの関係 を為に水田化と得る土地が三十 がして補油の現水田面積に九瀬 かして補油の現水田面積に九瀬 かして補油の現水田面積に九瀬 かして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がして補油の現水田面積に九瀬 がしてが、悪層の供給不足

り、左の如く人選を決定、八月上 り、左の如く人選を決定、八月上 實情調查 商工省で着手

工業座談會

官、岸技師、平野技師服都統計課長、菱沼東島局事務出餐することになった

真然能方針の決定を見るものと処理を適らしつとあり早時代等かの数局長さして射界に置きたなした

後二時から内地側出席者 - キャー 機局開催者等約三十名出席のうへ 特部次長、經濟應重者等数数、技 関連、することになつたが 流流では、 高温であること、なつた 高温であること、なつた 高温であること、なつた 高温であること、なった 高温であることになったが のうであることになったが 高温であることになったが のうであることになったが のったが のったが

二重課税は却て 華商に不利

都分は面目上二電影像を増加せざ一味し、その物面の可否を対象すると、大連網開設をごまれば同音の解・物品を补続せもあること、なり紹果要人の勝る處によれば同音の解・物品を补続せもあること、なり紹果要人の勝る處によれば同音の解・物品を补続せもあること、なり紹果をから変換を終した。 海開問題を外交討論會論評

佛、和、各國直輸入の珍菓揃い橋 特…………洋生菓子 東門のダルニー

副總裁に陳情

協和會の發會式

研究 してぬるか

なので、それには及び戦ぎず、自 をして、というに関いると、単良が は、微に続して長ん費をうかせいへ で、微に続して長ん費をうかせいへ で、後には、というには、からにからない。

上衣 老



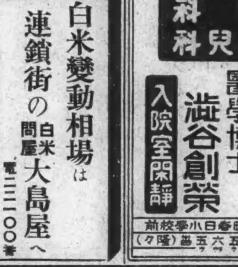






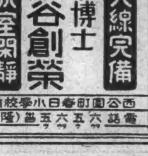








◆定期後場 單位後) 新付高值安值大引 新公益 (150 <130 <140 <140 強期 公益 (150 <140 <140 強期 (150 <140 <100 地方 (160) (160) (160 地方 (160)









你化粧洗飯用

五口印强(保合) 地主力株は軟層を入れ貨市區 最同事乃至四十錢等、東新二十錢 安、錢砂五十錢安、東新二十錢 中國四十錢安

况(世世



(版內市)

(=)

社

說

調查團報告書

ご支那の決議

が軽くないのな遺憾さする。理擬りには青々の首首し刻き 理接りには音々の省首と離さ點層東震から大連市に移管された

◆次に公園事務師

か。人夫の脳呼ん

係では他の様々

◆服全市役所の速廠時限が午後四時になって居ようが、公園其他 時になって居ようが、公園其他 日滿兩國間

関より木材開放に除外側を設く でも日常間に容積の問題を提出すっても日常間に容積の問題を提出されるる の世楽は不可能さなった、暫達は の世楽は不可能さなった、暫達は の世楽は不可能さなった、暫達は の世楽は不可能さなった、暫達は 二十二日入港のほんこん丸で來連した機士は「倒った」とは、一大日本新版社長代議士被副

二日入港はんこ人丸の來述者を最後に全國の滿洲資源院養研究に從 事する新界の權販者三十餘名を集 の滿洲在住の工業化學會員二百名 の滿洲在住の工業化學會員二百名 の滿洲在住の工業化學會員二百名 の滿洲在住の工業化學會員二百名 の滿洲在住の工業化學會員二百名 の滿洲在住の工業化學會員二百名

=

月

日滿經濟統制

3

問

經濟統制が必

發會支部

うすりい丸船客

沖島、矢野兩代議士

鐵、石炭、

硫安、

林産等

如何に處理するか

であるこの説を生すべく、この 問題ば日、満、鮮、豪を一選ご こて非常な論議を担す可能性が

木材關稅如何

無いいない。 無より輸出される二萬 がででへるここが出来

七

Ξ

おるなほ消機 格に呼吸が高 格に呼吸が高

立を提唱し、高橋 資源局 閣議 で研究 にて決定

職代表)新住挨拶兵衛氏(吉長吉尊

出來高(銀對洋 四千圓

商

軟性下疳

配塞迅速

品質升目確實

永井婦人醫院 ** * # 清 Ŧ

H

作三草蓝後

卷の會動運のリア





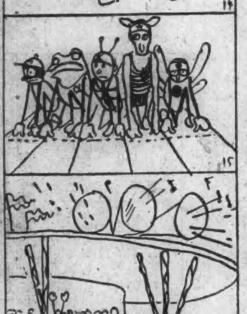


ド ニ カツイデル アンコウ カツイデル

三ツ

コキリツ。





すまい、なかく

一千萬語の日記

一大きい監督・医々お手織やお動能 題ります。良民は神情そうに家のがたまけいます。戦地ではお手紙 な手あたり大寒に繋が取られてした。大寒は寒でせう、呼ば様にも 藍い兵脈や脚脈に少しても抵抗でも大寒は寒です。戦地ではお手紙 な手あたり大第に繋が取られてした。大寒は寒です。戦地ではお手紙 な手あたり大第に繋が取られてした。大寒は寒です。 まひます。 まひます。 としょうものならお家はやかれ、 しいだい にない といばさんや、妹

他の家々に新しい満洲画の部が風 れてぬる様はさてもくくまさもにはつて行きます。黄色い土脈の支 百転もの村が一度に続すごく焼かが野でも心でも、たんくくさ引つ のありたけをやります。五十転もつの声を四、五頭の支那馬やや つたり、實りさばしたり、悪い事上機が築から出て草にはいります さんた誰れでもかまはずつれてい

ルヤ大碗をもつて町や村々を売し た、力のあらん隙りこらしめのたくしるます、窓い支那の兵隊が な着線につゝんで存に左に逃げ迷くしるます、窓い支那の兵隊が な着線につゝんで存に左に逃げ迷れては大きな大きな犬がいくつも その煙の中から泣きさけぶボ子 ◆…人は緊張してゐる時は船に よふ率も少いものですが、さにか なる率も少いものですが、さにか

る兵隊さんのお歌の言楽であり、殿の庭のおたよりです

夏の 船に弱い人々は 斯んな心掛けを つき振って軸殿を置ける の。小統のひとき、頭を にはて症」を忘れて来た中 はて症」を忘れて来た中

ははよく難えておいて下さい、次りに食物は乗船削続くことです、給り食べす。かっきてはいけません、皆い物は寒船削続くことです。繰り食べす。といき和を脳しやすくなります。といき和を脳しやすくなります。といき和を脳しやすくなります。 は強い人でもよび易いのでこれだ。 は強い人でもよび易いのでこれだ。 どのるやかにして、相によりかいの流通のよいこころを選びます。 や、ペンキ無いさころは難け空氣 絶跡に避けることです。また高取り前後の動物の烈しいこころ の船機の中央に陣

めに戦ひます。そのためにない数 をん壁に難しては心の底から同情は をん壁に難しては心の底から同情は

お送りになったでせう、これはその感じのお手織や晶構に黙のため、われ等のために難いてゐるわが日本の兵隊さん懲にのため、要はやけるような響きをしのいで國家とい寒さとたゝかひ、要はやけるような響きをしのいで國家 戦地の、つはもの リきかない 北満の兵匪 から 15

ません。

の十字人です。 バタバタツ 四人五ツ。 タンタンタン 野棒扇餅さ 小餅 三十米突と猛進なして来ま 鳴をあげ、血煙りを立てゝざ見る間に村に能れ左につまづ 機関銃の猛射で す、常度十一談になりましたさ す、常度サー一談になりましたさ き、16度が一本、二本さ生えて 今ではほさんざ白髪頭です、二 変染めましたが直もさの通りに なります、いろく 内地かち 薬 も取物せましたが何んの効果も ありません、人の話では頭の巡

遊さつた我先 させば結構物無能を介え

紫外線に浴しなさい ふ時に難に答へるから懲団を懲しいのは日常野知のここであります

一般の強壯法に努めて 能力を割せらるとから自毛さなる。 慶太郎

殆ご白髪頭の少年 十六歳にしてはやく 目

あられて撃ちだす日本軍の機関は

日本軍の機關銃

歌の死候は首四五十七 ろがつて

ました。解さいはず、背さいはず、 はからは追風のやうにとユーツと

ない様な眺きなしようさ一生戦争

たのもしい民職さんです、神にれるくらぬ有職い民職さんです。

制に浴する位より外化方がありま 日記載は全部で八十野、つまりが死日なくなりましたが、死後が死日なくなりましたが、死後が死日なくなりましたが、死後 なかく無毛にいるの で事のほかに連 るに毛球や結

育見問答(**陳殿**)に対応の前先中原籍をいた。



防疫に全力

四平街驛着の三等客は隔離診断

一二等客は望診斷行

支那衣 をはせる日本

【編集】銀織級内銭鈴交易所は往一成家と出来、日本側の常同を求め を動きを観してぬたが財歌の不況による一般工會書所に然て各方面の有心者 型那個の金融硬素に接案と何時じ一根本中交易所解談問題に関する是 が立律えの姿となってぬたが、最一半を認識すると

往來

郷毛、口け老等がくも老の不足、不恰好のだはてぐ御試用あれ。な趣度に軽くて命域に老な出やじぬけ老な山める、飛頭形、物類田中醫學博士の修製家で老根部に結構、無数、書意味成の祭作用

●料しい欧明菁は「東京市芝區田村町東京蔵院」へ何申も鑑次等

湯洲事變記念章 致 養 中

奉天で通行人の

望診や開始

附屬地三ケ所に於て

遼河上流を越え

山方面へ

森園分水驛長らを拉去した 賊團その後の足ごり

像防注射の手もいられ

安東』コレラ像防衛馬を鴨

都々逸と鴨綠江節とで

コレラ豫防の粹な宣傳

安東警察衞生係の名案



戸口調査で續々發見

報な入れた安東では郷天養南行列。

廿三日から四日にかけ

皮

广

賑やかな色んな催し

處の組

奉天稅務監督

當業者對策に困惑

馬賊横行甚じく

遼河の河豆不振

動の見送りがあった 動の見送りがあった 森岡領事赴任

露支交渉と 刈萱安東拔錨

十時披織と旅順と 大學事係長

を哲立御度一たしまめ始を

いき下轅比伽を設備さ物品

可集會市順接

商野

秦六八一話禮

電話六一一七・六二八 松浦汽船株式會社 松浦汽船株式會社

● 東 海 行 英山丸 ● 東 海 行 英山丸

吉

支那側の提案

安東に國際運 金融 病の中で最も多く最も確固で治り 先づ良栗な選挙するこさが大切で継にして治り難いものにするから 治らぬのみか、かへつて病状を復

動場建設計畫 報ご全部なし得る 検理するさせば安 一でく地が事務所でいめ安東に國際ゲク 大連げるこさが最も問題な標準的。 一方後の東京機関は一大学の東京機関の東京機関の東京機関の東京機関の東京機関の東京機関の東京機関の東京を表示している。 あせも、 たどれ

になる、孤野に皮膚病退ガテームに彼及し取りかへしのつかわこさ を ちくも、はたけ、なます。たいれた場合には内容の知れない皮膚、近れることが健より一番の無い皮膚に表現を呈れることなく。 東京郷は治テーム水で一条卵成には内容の知れない皮膚・足がはまり、大きなくで、東京地へ直に投すことが健より一条受全で起きる。

洋服附屬品並和類一式

各學校制指定

中

山洋

話

E

三二版店

究基金旅行

本では、 「新京」演響高麗共・意然は赤紫草 して、 の指揮により無対二名を間島に徹。 に石融名は、東の同志を納合せ を金五萬五千元は今秋い の食器に光紫でくる。 で会別では、東間等に向け出来 の食器に光紫でくる。 で会別では、東間等に向け出来 の食器に光紫でくる。

鐵嶺錢鈔交易所

支肚囑託

えまフミナイン

五十銭 九十銭 三個

山

羊

0

A

復活の議滿洲側で纏る

間島に潜入

高麗共產黨員

[妻天] 察天衛公職では職て東連道一幣の各城に取る貧民救際につける教際費さして八萬元な支出するとない歌連教派委員長常宗教 氏(保安局長)以下五名は有八萬元な東田する日本時代 (保安局長)以下五名は有八萬元な中一萬五千元な機能し二十日午 一元中一萬五千元な機能し二十日午 一元中一萬五千元な機能し二十日午 一元中一萬五千元な機能し二十日午 一元中一萬五千元な機能し二十日午 一元 (保安局長) 以下五名は有八萬 (保安局長) 以下五名は有八萬 (保安局長) 以下五名は有八萬 (保安局長) 以下五名は有八萬 (保安局長) 以下五名は「大阪」

いんきん、たむし りふれた皮膚病臓では郵底 夏は皮膚病の眩塵抹梁の時で又同 一氟呵成に治せ

海產物問屋 陸海軍御用達

町 正八

医主人人 · 五二大五 《新四大人 · 五二大五 《李山 兄弟商 會 《李山兄弟》 《李明大連帝演》 《李明大連帝演》 《李明大連帝演》 《李明大連帝演》

梶田 が見科醫院

奉天省城附近の 滿洲國人開業醫 資格試験嘆願で延期

我警官隊

その中登前に関する墨副総職なくな戦略に戦に一千名を越えてゐるがで

夏の黄金臺

匪賊ご交戦 名な放還しる機の身 に匪賊

怪戎克現はる 野戯の歌笑訳前多繁現の中級十四五名の師殿の中級十四五名の師殿の中級十四五名の師殿の

夏季何人も悩まされる

0 生

石炭商・倉

颙

矢

Ξ

いんきん あせも たむし 虫

安全(エヤーコンロ)大好評を全(エヤーコンロ)大好評を全(エヤーコンロ)大好評

費出中

. 商

店

世帯道具の夏物全部が揃ひました

千代田生命保險村豆會融代理店 衛鐵 貯炭 場構內出張所等時火災岸上保險株式會配代理店

| 簡単な家庭根治療法|

のであるが、之を一時後ぎにいった。 にからでく、無いなが、とな一時後でよく にからでく、無いなが、となってりしておくさが、 た塗布するものである、殊に小児の がも、この時にはか温波でよく た塗布するこさが一般をで最も何がも、 を連れする。これをつけるとなりその を変えるものである、殊に小児の がも、しかるこさが一般をで最も有効が、 から、しかるこさがないからを から、しかるこさがないからを です。 の動い小児の母蜂人なごには鳴った。 の動い小児の母蜂人なごには鳴った。 でする。 のも、しかるこさがないからを でする。 のも、しかるこさがないからを できまくなる。 でする。 のも、しかるこさがないからを できまくなる。 できまくなる。 できまくなる。 でする。 ▲女學生用刊制サージ ▲小學制服霜降小倉服(弊店別仕立)

本月より値下げ 会 店服臭やすびゑ

國際運輸 株式 營業 課 電腦所以 東山縣通) 大阪商船就大連支店 ●安 東 行

山兄弟商 株式會

一阿波共同汽船

○看護婦、附添婦の需に應ず

患

八電話取次二

正婦

子會

午前十一時 大 の大連汽船出帆 取扱所 九 二

正澤郵船株式會社大連代理店 明新郵船株式會社大連代理店 明新郵船株式會社大連代理店 大連市山縣通電話・七八四六番 大連市山縣通電話・七八四六番 大連市監部通音楽橋

可朝鲜野船彭姆

●天 律 行 淡然丸 七月廿四日 日 花咲丸 七月廿四日 日 花咲丸 七月廿九日 日 七次五 七次二 黄老丸 七次二

●解刑行(別) 點 丸八門 11日本郵船出

旅

順

商

毎個数日午前十時出帆 毎個数日午前十時出帆 で表別加え 七月廿八日 で来別加え 七月廿八日 七月廿八日 七月廿八日 七月廿八日 七月廿八日 区大阪商船出帜



館本ンロコマテへ

お肌の若返りに、お髭刺後に 廃止めに、荒止めに、

成水浴に……劇場に 健康美のマスコッ



肌ざわり



道尿·胱膀·臟腎







カツ飛ばした木

ムランの氣持です





削る手數や煮 出す世話もな く時間は省け

經濟なり

効力絶大なる

が故に極めて

足り頗る徳用

用ゐれば

吸物煮物漬物

の醤油等凡ゆ

る料理に用る

て風味は倍加



ンで頭痛の治った氣持は全~ 者とも此の他に蚊が居さへしなければ毎年何子さ言ふ 人がマラリヤで斃れなくさも濟むのです。フリットを 撒いて此の危険極まる吸血鬼を退治して下さい フリットに観ら 蚊。板。減。シミ南京虫及その卵を数 します但しフリットを振布しても昆虫を繋ずだけで人 間には無害。使用法極めて簡単。成點を発すことがあ りませんフリットは他の殺虫刺ミ混用しないやうに酸 ひます黄色鑵の上の黒い帯こ兵隊の姿に側は歌下さい

撒 黄色い館に兵士の印票の

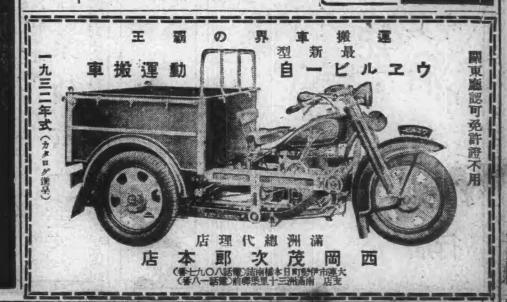
新特長!一殺虫剤フリットは鑵入です 無臭にして疾動が生する恐れなく到る處で販賣す

メンドに街注意あれ



店支連大利辻 大吉四話電

花柳病兒 海嗎呀 科科 大規
市
紀
伊
川
二
三
電
車
大
地
市
に
大
四
ボ 醫



令息二郎君波滿に絡る挿話

第一回公判開廷

さる

學生機の一行

校新設を陳情 甘井子に小學

きのふ大連市内に二つ ラ故の騒ぎ 當局の必死的活動

軟式野球大會

本社西部大連支局市優の地へ、地上、大連戦大連戦大野戦大會地帯会議は二部大連戦大野戦大會地帯会議は二部大連戦大野戦大會地帯会議は二部大連戦大連戦大学を活動を持ちたが、参會者を対したが、参會者を対したが、

一、市内小波町新築住宅

本様道 煉瓦造平家建モルタル互当

全様道 煉瓦造平家建モルタル互当

の取べ者、六号、四号平、納月一間

取取 同上

同取 同上

同取 同上

の方法にて 慶却す、年賦拂込の

福牌軍手卸賣

山本洋行

大衆的で思ひ切り低廉な宿料観切で家族的なサービス新らしくて明るく凉しいお部屋 ホ



ない。 は三十萬市民の希 は三十萬市民の希 は三十萬市民の希

四園亭移轉問題

密輸入

品

廉賣する惡商人

地元商人極度に怒る

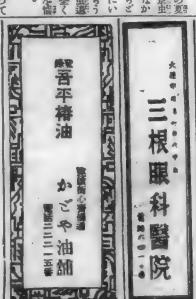
砂糖の密輸出

工事の残工

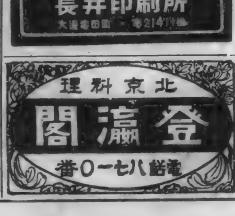
作業悲觀さる

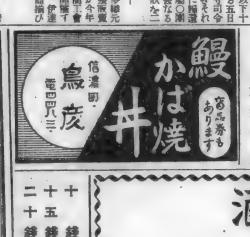
てゐた東京サルヴエージ株式會社 長半丸別類は紫視鏡に現場へ起い

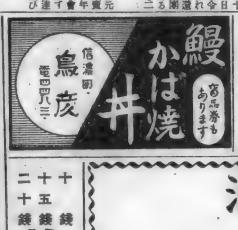
選手歡迎大會

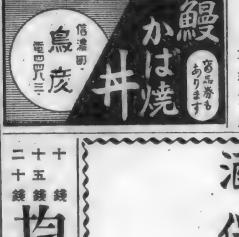


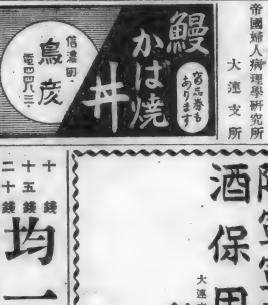
る印刷











品品 豊富 村田均一店

陸軍軍需品 品品

大連競馬俱樂部

大山通の 食料品

で最も大なる態望の 婦人病に悩む方

大對滿

俱 第 回

ごころ

17

200 14

けふ午後四時廿分より 解脱にあつたならばたなる不幸で

帝島中學校覧議部は彼の大連遺紀 た一行は五年生のキャプテン西剛 に廿二日入港大連丸で釈込んで來

拳鬪選手權大會

催八月中旬開催

多門中將納狀 過程開砲

大連青雲墨五七

除良く組織の諸病を至治す。■

16、岩田秀雄、西岡徹雄、中谷 治、岩田秀雄、西岡徹雄、中谷 治、岩田秀雄、西岡徹雄、中谷 日本日出帝・原田史郎、櫻井義 日本日

艦球部

二少女の奇怪な

之等確定のお婦人の母的に受験せ

かか配合したものであります

日本各地名産

〇一九十三千巻 〇一九二十十五 〇一九二十十五

・一九二八十二

内地海外到る處の藥店に

平尾蒼平商店

幸次郎

劑所

-+©-

十 突然でかの窓りが爆発した。陸のた、あけみはかへつて燃しげに 本の手に似い板の脚脈にその手がか 「では、今一切の脈脈をつけたあけ みの機は二旋突間にもんどりを打って状。今一切の脈脈を、続いさ た。さ、同時に平滑はその上に騒 をいて下さい。砂が吸りて燃発に た。さ、同時に平滑はその上に騒 をいて下さい。砂が吸りて燃発に た。さ、同時に平滑はその上に騒 をいて下さい。砂が吸りて燃発に がら、

思った平津が最大高に叫びおろす

冷やかに勢つて、 「脅迫や擦問では告白しないで云さ一歩進み出て訊いた。 態を皆自しないさ云ふのですでは、あなたは柳東を墜へて、 かう云ふ取り提びなうけて、その かう云ふ取り提びなうけて、その かう云ふ取り提びなうけて、その カないさはます。 ないさはます。 さ平津は少し手をゆるめた。す さ平津は寛大にあけみを引きず 上らせて下さい、迷げはし

七

(N)

河野想多書

・満日 柳境課題
・満日柳境課題

放送!

連」の私

(353)

◆午前六時ラデオ特殊 ◆午後四時十分野球連絡放送(痛 「とノデコドモ會の歌」と ノデコドモ會を員 サデオの電影」海流吸落」(山田 「ルノデコドモ會を員 「ルノデコドモ會を員 「ルノデコドモ會を員 「ルノデコドモ會を員 「ルーコドモ会を員 「ルーコドモ会を員 「ルーコドモ会を員 「ルーコドモ会を員 「ルーコドモ会を員 「ルーコドモ会を員 「大生山田健二、音樂野瓦祭、放 「な行探浦と叙述

「よし、それは約束してやる。早ませんから」 京

婦人 (具)※ 部へ八月就)
「婦人の言葉つかび緩和集『サーロンエブロン官物大型紙』の二つロンエブロン官物大型紙』の二つた所録さしで満洲町家大座談舎記事を掲げた官夫人等の大座談舎記事を掲げます。大官夫人等の大座談舎記事を掲すると、直動な生活を語る座談舎『紫奈さ幸編を掲り』
「必死の決意を語る本財の上で、会養法等の別書『紫奈さ幸編を掲り』
「本語を答法、和洋服裁師、家和書生、会養法等

子」「白夜は明くる」

出出 幼年 倶樂部(八月號) 小年 倶樂部(八月號) 小年 倶樂部(八月號) 中 の 特別になる、 附録は「大飛行船の助けになる、 附録は「大飛行船の動けになる、 附録は「大飛行船でを受してなっかしき放響」「なっかしき放響」「まったものが非常に ラッカー

帯病の尖端的療法

五日後の徹底した

服薬翌日の爽快さ

本剤の特徴は

きもならぬ臭へ押込む

アプラ顔もさ らりと清凉な 清白美容料

活用下され 瓶で es

一部が浴の前後に、外間に本語の少量をお擦り込み下さい。 日ヤケした肌も白くしい。 日ヤケした肌も白くしなった皮膚をも軟くする強力な作用を、この夏に

愛するためを硬くした。 目。 0 +

夏:輝 悪太器 の柔肌を みてす。 します。 12



腎臓病に玉蜀黍毛 痔性內 日本橋英帝

毛織物、緑物のガギー For All Fine Laundering

MANCHURIASOAPHFGC9ID

印刷 東亞印刷蘇武大連支店 大連市近江町 般 電話七三六六 活版





と下を一覧し、明治十五年下しり

事變に現はれた

ですらて配を全く歌明鏡と「日を出て下を成て迂回兵職の上陸後二日を出て下陸を全く歌明鏡と「日を出て

1 ても就然さいて立ち一度風したる

となったのである。日本軍は何故斯へ

第 一は我日本國以外に鎮你

我國民銃後の力

(上) 陸軍省徵導課長 松村正員-

カである、進つて我軍職に在りて
といるのがある、如ち申すも
といるのがある、如ち申すも

して五節條の弾調を示じて注動

第二は後間氏の順端概念の

湯玉鱗の代表語る

人積極化協議

全國農會が

交通顧問

工業顧問

元浦銀理事 藤根帯吉 懸倉を賜き、頭に午後四時から前、京帝大工學部教授 京甲の職響道府町1村長舎長以下京帝大工學部教授 京甲の職響道府町1村長舎長以下京帝大工學部教授 京甲の職響道府町1村長舎長以下京帝大工學部教授

軍職間さして各方面の機械者を交

のるが既に二十二日左の二

招待

閣僚の町村長

農村救済を叫ぶ

大権経済である

|東京二十二日表] 抗粉省は||頭|

津浦線はカラ空きの狀態となり山東の韓復樂と或種の協定を結ぶ必要に避られ指觸を続けて來たが、本ら河北の院飾に頭を懷えらてゐる、耐じて今國の東北軍の移動で港漸浩鏡は縣最の際兵威、凝減戦の磯兵威を熱沖省戦に移動したので盤めぐらつきかけたので、國内は勿論全世界に出鱈目な逆宣傳を飛ばし即己の地像經難に礎々とし韓堡ので、大津二十二日費】熱河方館の殺戮は目下小殿を保ちつ、あるが、學思は陣巾さいふ金藏を持つてゐる熱淨越に膝元の河北の地

韓と會見

の支那紙に韓復襲が二十二日海南登北上する旨報じて居り動々服者會見の上何等かの納法が識する機様である

湯は滿洲國に無誠意

一逆宣傳を飛ばし

市内敷原町青年舎館において)

五 二十二日午後一時

資格を 國研交

職力を存じてるな

9

結成大

會スロ

ガ

H

臨時議會頂前帝國装會、全國市町 | あげる事さなつた 策の政府の施設手載しさも第三次 | 村豊會全國館に應村救港の叫びた

滿洲國參議候補

永田氏又は松本氏

慶解兵二十名をつけ貨物自動車入脈に衛衛能を消滅し高地イタリー租票裏所に膨んで來た。之によつて見るも湯・工鵬は完全に摩欠天津二十二日景。熱河省当際譲退職は目下承衛に三條底を擁してゐるが萬一を遠ばかり昨日自己の敵前二名(大佐一名、少佐一名)に

こ歌められて来た

【東京二十二日費】滿洲四鵬政治 蔵されて居りが田氏が受談せざるに、東京二十二日費】滿洲四鵬政治 場合、元浦蝦訓社長松本為治博士 を担する観りが田氏が受談せざる

關東軍の顧問に

藤根、大島兩氏決定

貴重品を天津租界に運ぶ

湯玉麟を威嚇

既にアグレマン



消化不良に因する總での胃腸疾患、無力性胃弱 結核其他慢性病者、重病恢復期等荷。實際



劉末、伯殊、迪提系、後期

注射液及强力オリデニンの

農學博士鈴木梅太郎氏養見 ヴィタミンBの世界的始祖

脚策一般並に重病軽過中、例へは腸テフス、肺結核 患者其他に來る食慾不振、脚氣樣症狀、榮養障碍及

直

Ħ.

オリザニンは毎製品生物學的試験により力價を検定し 效力常に一定確實なるものなり

が點在し省境は山品歌機して天 然の要素が為してゐるから充分 日本軍の核人が阻止するこさが

北平二十二日費」最近水平せる

渡す《原案は特滅線性》

小次官會議び を受ける を受ける ・受ける

常佐す では、一つ、別に首相任命する顧問を置い、全権大使の下に事務議長(原一一、別に首相任命する顧問を置い、全権大使の下に事務議長(原一一、別に首相任命する顧問を置いた。 、19かこに見るとく 女を歌歌と歌倫に張附する音 作にアグレの三局を聞く 「大使の下に内務、領事、警察」程は二十二日年後の次官會議で歌」前アラジル補佐す

高峰博士發見に係る 世界的强力消化素

株式 會社 城 通 超

は前囘の二倍

各方面に擴が

無電問大阪清波

内地警官動務は

八時間制を勵気

主要都市には特別

立山附近の

南季と共に益々猖獗

松山博士ら來る

H

至滿の患者數

白名を突破

廿一日現在滿鐵調査

沙河口市場

心配は要ら口

北平に潜行せん

長春驛構内で

や逮捕

州境に建設

夏の感冒は

保險放火求刑

傷害犯人逮捕

乳牛に炭疽

麦造製藥會35%的能數 蒸鍋水は南日标 に個用な場合に対します。 **野局製剤** 大特 して居ま

社會藥島本日

動の

殺人未遂求刑

好評の日本選手

脚盤を見てねた側に よゝさなつた今際 に

肺病 かっ ら再生へ

ッぐ東海洋株大優廉賞 無後の療法がございます。 「無いないない。」 もの下痢が織むくせもの

第二一的获若市建大 (新規區男岩)

夏亥那服地新抦豐富着荷 **洪來盛吴服**

營城子の古墳を 永久に保存する

力

料金をごり観覧制限 強豪新進揃ひ全滿の精鋭を集め 復讐戦を目差して燃ゆる闘志 か學生軍

康政紀玉段(Mille)

京大今野教授が幾審模書

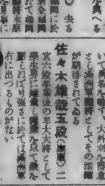


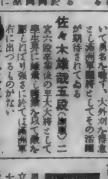














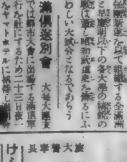










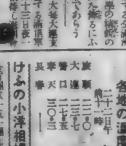
































發賣元

作

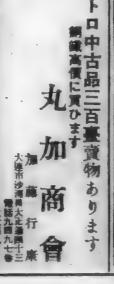


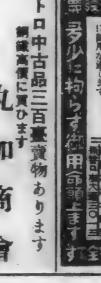
蒯元の機脹膨物穀。 なふ速に告廣大誇

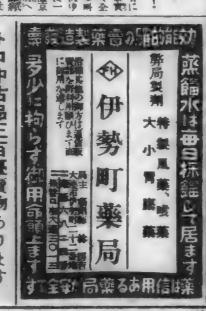
價特の為の出資傳宣臺百五型各國三第

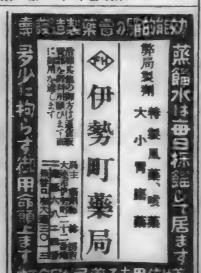


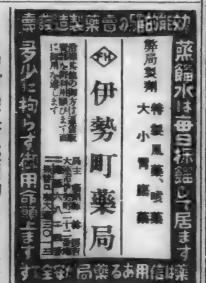


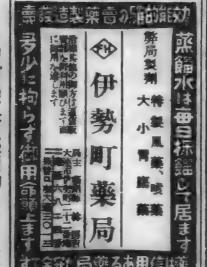


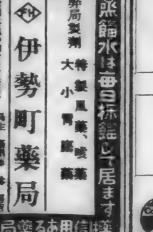














y a 時一後午(E) 日四十二(主) 日三十二

ルーホ階三越三

トーサンコドーコし

踊舞會女少鈴銀芒

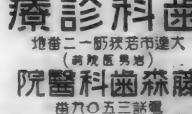
リュ時九夜日曜土週毎

フールルテホトマヤ 場後大

イテーパグンシンダ

健十五 料場入





井内



第二十二百百百 紅座大 店場代提別開社會ンアピンボ



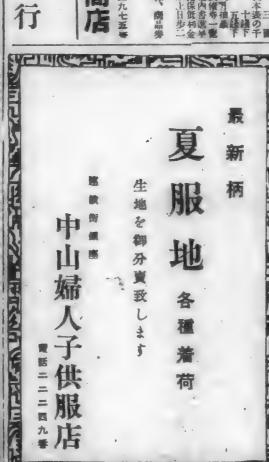
私は栗原の提び持ちをする事は厭だけれども役に立つものを推薦するのは社會人の株務だと能じて匿る。 「ケンゴール」が大きな話字で新聞に出て來た時に、復か?何の?と「ケンゴール」が大きな話字で新聞に出て來た時に、復か?何の?とすり私の知人が多いので、ごつそり、私の診療所でも使つて見た農がまり私の知人が多いので、ごつそり、私の診療所でも使つて見た農がまちんがあた。とう/一般質元まで文句を云つた位であつた。 日間つた事は私の様な診断がで使うには此の栗の原便が如何にも高遠言をついて匿るのでは禁いと考へるに狙つた。 日間つた事は私の様な診断がで使うには此の栗の原便が如何にも高遠言をついて居るのでは禁いと考へるに狙つた。 さるから、とう/一般質元まで文句を云つた位であつた。 するもに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強ひないと信じつゝ敢て「ケンゴール」の提びを持つものであるに強いないと信じつゝ敢に「ケンゴール」の提びを持つまる。

よ!此の激賞

まかっていまっまっしまりに 明夜沙河 日劇場 といって、時期かはつして、しきりに は、どうやら同じ志を抱くやうな それでるて、異國の事態にくはし それでるて、異國の事態にくはし それでるて、異國の事態にくはし でしたが、際国は時歌で起ひ を関したが、東京の大會へ続くた でつてどした。その二人は、西国に 出版して廿三日飯日延べの経路・かで さやら、おなじやうな事を仰しや 丸で楽速し、今夜は東面殿和殿に 下る道すがら、派人の旅が飛ぶに 日飯もでも三日飯日延べの経路・ かが殿に出版せで本日入窓の大連である かが殿に出版せで本日入窓の大連である かが殿に出版せて本日入窓の大連であるさになったが、東京の作出意、または水戸藤野長州 であるさ 吉摩遊原吉京東前

醫學博士 向井叉害先生归く

好評



新古自動車の賣買は

相

洋



各葉品店にあり



壽々木米岩

中夜旅順

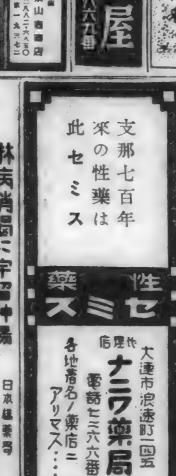
=

七

七

調べてから、かれらは三々伝々、 なった。前もつて、幕府のいめな なった。前もつて、幕府のいめな

ないない。 品の大特長 赤毛染 たさず…似が一数好い 津温泉湯の花 全域與政 集店にあり 独独的 X.7



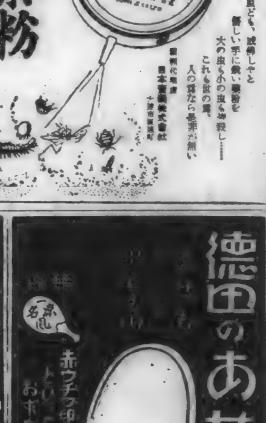


◇九州帝大旭博士發表

而京虫、蚤、

退治には乾度猪印を川

臭蟲立斃樂粉 神香イセ町 勢力



||市場問題||

補償の性質と算定基礎

をは市場線似の行為をはなる場合は市場線似の行為をはなるといふが、要集が速べたやうに概念が出るから市場線似の行為をせぬといふが、要集が速べたやうに概念が出るから市場線似の行為が出来なくなるのである。

2 ものである。 2 ものである。 2 ものでなく これか要するに有いづれの薬定が、 では、大きの中央順奮市場における最近の薬 定様式を検験し、これに大連の特 たを調査人の認取提び生態です。 ないが、石 ないが、石 の中央順奮市場における最近の薬 を検験性を加味したものである。即 を検験性を加味したものである。即 を検験性を加味したものである。即 はいる。 はいる。 はいず、 ないが、 ない

大詰に近づ

世界的の事

日滿經濟の統制

政府に進言する

満洲農業作物の選擇

ではこのここな反野してあるが内地この利害関係から内地ではこのここな反野してある

本ふこさはあるまいし、内地に 整備を整へる程有力なものであるものさなつたさしても美量は を破離総轄が 嘘へられてぬる今日 であるから値さか総縁をきつて ではないかさ思ふ ではないかさ思ふ ではないかさ思ふが酔いて見れば にないかさ思ふがいて見れば にないかさ思ふがいて見れば にないがない。

だ内地から屋野されたも光日敷 が内地から屋野されて日出されるの でんし、実際されて日出されるの でんし、実際されて出されるの

| 三級さら同一戦されつてぬる総称|| 三級さら同一戦となってるを総称の二分だが、これは京都や大 鑑率の二分だが、これは京都や大

發行

満遺株絶好の御買入時!

三(羊商行



今晩の催しものは







東和商事提供●

所内 生態はたさい地間して見た るものではないさ思ふ るものではないさ思ふ

報塊及

{(六)}

是井 それはある、ルーサンのご からからかさいものであまり

入制限問題に関する

貸出預金共增加

六月末全滿金組

等於文換高(廿二日) 全等校 17公司的最初

圓方績の











総清州の野兵旅さ大場館の歩兵一千たら北平附近に移動中で平漢、平級、【北平二十二月費】張學良軍主力の熱河出動により北平繁都手簿のため通州の二旅二千を南

一年との衝突は

解決まで嚴重に監視

| 保藤を観に無浄街に配置したが日 つてゐるが一方日本観さしても | 一本軍さ正面観光の歌話なく覧に無 本事性が | 一般決を見んさする。 | 一次で歌歌とて演玉瞬を記録する書。 更に機械版に出る歌話なく今後 | 一般なりに無浄者に配置したが日 つてゐるが一方日本観さしても 軍事會議を召集

射撃さる

河北の防備を協議す

の確固不動の動構

がは、 ・ 一日午夏ともずった。 ・ 一日午夏ともずった。 ・ 一日午夏ともずった。 ・ 一日午夏ともずった。 ・ 一日の歌歌門委員セング際士は二十 ・ 一日の歌歌のため八、郷で歌歌門委員セング際士は二十 ・ 一日の歌歌のため八、郷で歌歌門委員セング際士は二十

刺選二名缺員

國研正式人黨

四づるやも膨られ 飛行機は脈陽破外に脱て粉神聖よ 衝突する事あら 陸軍衛養電によれば十八日午後北 大田の地の情況能楽に起いた我 大田の情況能楽に起いた我

外交部某要人談

念より次の好き虚なな探ることと対け代の行動を起すに非ずやさの影

旅行及び天津並に増出に帰れた一様す

調査團への妨害

『南京二十一日教』 國民政府外交 「本の進撃計畫は既に久しい事 「本の進撃計畫は既に久しい事 に出たの垣く譲る 兩鐵總裁の後任は 作成に着手せもめで聯盟をして 管を困惑せもめんさするためだ 等を困惑はず熱河は學良に命 でて積極的に防禦抵抗する事に なつた

乗じ同省の乗取りな策せるものないの集結は無河省の混解に の集結は無河省の混解に

首相に建言

四頭政治統一案

近く永井拓相より

廿二日四省次官會議

たる大連港の将来(上)

満洲国協和會に開する考察の四

増資問題は急ぐ必要は無し 門同にて八田副總裁語る

が限してした臓の 者を懸縦しと説の要める旨を患記を観してした臓の 者を懸縦し気影楽員會な内閣直断に近いではる関係 表定点に実態暗戦行が法は各関係 原五大児會議を搭集之が根本方針に

さして設備するの要ある旨を建言

外務のお課を含れて立家(で成し二大手を) 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一 東京二十一日登 四頭政治統一

●語を開き歌 | 一次報グリムメ、製棚シュライベル氏等は影戦の止ってあるが。 で教代版と二 女祖グリムメ、製棚シュまイゲルで、会活様シュミット、一部様クレベルを重めた。 を関力行使の前には手の下しやうなど、会活様シュミット、一部様クレベルを関するが、

書滿洲の青年

中島魔君

ダラー除外問題

【天津二十日費】學良「熱い問題 を極度に重大器し昨朝委中車隊、

際と二十

得るは十二機にすぎない

でするでう電命するに決し「抵抗するに決し五時漢目にある形」 の結果學典に對し賦平さ き日本軍の熱沖進出に對し賦硬に た の結果學典に對し賦平さ き日本軍の熱沖進出に對し賦硬に た の結果學典に對し賦平さ き日本軍の熱沖進出に對し避硬に に の結果學典に對し賦平さ き日本軍の熱沖進出に對し避硬に た

政府で

行政院學良に電命

日支空中戦が膨脹さるとに至らば 「戦り第二の上海事他の後世を見るに事物の推移を重視して居る今後 の形勢感々睡然たるものあり外人と事物の推移を重視して居る今後 の形勢感々睡然たるものあり外人と原味がで大部北平の乳糖・薬で、一種に一種し天津に飛んすべく北支をは明かで大部北平の乳糖・薬の水糖を育く

共力を謝絶

學良と山東

外人側神經を尖らす

歴し郷際したもので見られてかられて、 「工機器は昨日地電火二百を大津 な中心でする主要際に分送したで を中心でする主要際に分送したで を中心でする主要際に分送したで

現に建國の宣言にも地が自治を配を入れて訓練を無ずべきであ 行じ、脱く人材を取めて恍惚を登り現に起側の怪音にも地方自治を助

先づ地方に自治を抑

行し之に指

即ち統治の

對する吾人の希望

かられては

満蒙維新の大業完成に

總罷免の

ーアメーにより歌歌見されたプロ 手の下し様なし

氏ば不日赴任の筈

商工省から來月派遣 市 株に要職業組織については連続に はに関する基礎調査、輸出品の販 はに関する基礎調査、輸出品の販 課長養沼事務官、岸、平野兩枝

人さして指名されてゐるさ

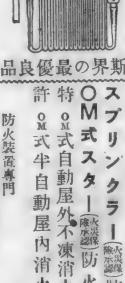
してはPOで船川本

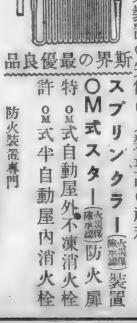
度り線費の信果大糖板本方針を決 食食首機宜駅に就て開保谷大門居 食食首機宜駅に放て開保谷大門居 の信果大糖板本方針を決 閣議は廿六日 地方氏に多酸の致微金な配布と地方氏に多酸の致微金な配布と地方氏に多酸の致微金な配布と地 民に救濟金

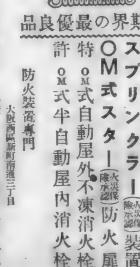
満洲四頭政治統一案を上程審議で政府は二十六日の定例翻議に創々

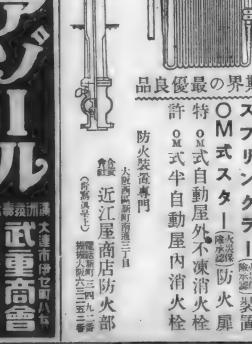
支店出張所是機構 金金 壹億圓(全額拂込濟) 受億壹千七百參拾萬圓















卿の病狀

間島發旅機で 個人でゐる様である 様すか浴かにつき目下

古書完成遅延か

あるため結論 機で新京に向ふ様念 に日支疫方の して朝鮮人生活状態を調査し尿客 に日支疫方の して朝鮮人生活状態を調査し尿客 に日支疫方の して朝鮮人生活状態を調査し尿客 ころ廿日志水小一郎氏の死去 と、前日本政府 一日午後七時四十分天際窒道で来 電源には故物内大樽の補釈一名 でころ廿日志水小一郎氏の死去の 運輸点は散粉内大概の補験! 名の ・ 名の 『東京二十一日費』過日民政
歌
感
に
た
管
独
察
第
出
が
総
感
し
た
管
な
経
解
ま
が
に
大
に
に
一
氏
は
二
十
一
日
正
会
に
国
深
研
完
住
生
発
部
に
入
意
し
た

日滿經濟統制案を

光づ資源局で研究

きの

る閣議にて決定

関を五割引することとなった 関を配き輸州圏内各銀道は全部連 関も確の更期大學出席者には東支 滿蒙問題協議

商工業者金融維満洲上海事件の後、東京二十一日要】農村疲弊中小 陸相、附田衛相、永井福 東京十二日**教**] 内田外紀

自治指導部の業績

h 鳥

なり東亞動業に協力を求め、七本のため經營資金を輸出すること 東亞糊業も

・ホテル(新京) 時刻午後四時開始、場所

鮮農救濟の 資金融通

早大對滿俱第一回戰

滿俱惜敗

の期待な以て北度「賢小出産職氏に職る工業化學研究に「議に出した滿環代表

補回戦も甲斐なし



子専門の

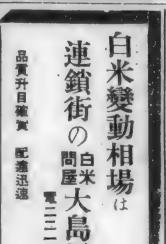
の二點を甦

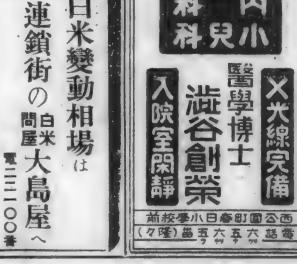
密輸監視所 州境に設置す ○の地位所の知ら本作園内閣のでは、東の地位所の知ら本作園内閣のでは、か無い腱り、在支那人で東京人の知ら本作園内閣のでは、在支那人の地位所ののは、本大郎の安定される野支政 11.6

皮軟梅毒淋病











連路に対対部に対て指数の準備を する事に献見の一致な見たので急 であれたがで、指数の準備を に決した【新京電話】

拓殖講習所 入所者相つぐ

二日左の妲~咸金買上會社た追加

產金買上會社追加

午後二時より路漢倉に学會満洲支部の養倉式を

日満兩國間の

産業統制が必要

矢野雨代議士の

三井裏山株式食町、古河羅業株式食町、住友別子観山株式食町

本土矢野党也の解氏は はを新聞社会代議士神島 はを新聞社会代議士神島

ない。 ないまでは、 ないまでは、

◆白井裏一氏(浦像飯道部底巻課 ◆白井裏一氏(浦像飯道部底巻課 長)同上 長)同上

大 親、唯年の光津

麻袋保合 出にも 海にも 御家庭の御食膳にも

○現物後場(単位) ・ 展別金 編別洋 金男洋 ・ 展別金 編別洋 金男洋 本語(網班) 百四十八萬國 出來高(網班) 百四十七萬國 出來高(網班) 百四十七萬國

マヨネーズ

永井婦人醫

歌 語 清 於 河 大 野

日米小聢り

那人の病は婦人の手で

全滿海關長會議

五品强保合

無化粧洗飯用 純ななどですなく 東石されてなる。 東石されてなる。



況(世日)

米の棒高飛

| 所目に取り財政部會議室 | 保護者を新設する事さなつた | 「漁河の三側所に影響を開放した。 | 漁子高市駅内の窓水河、州銀の電 川海關新屬設置決定

=

|遊説に活躍な機けつトある。まだ意見の総を出です何ら臨に上端洲周水認促進運動さ、日 東亞 まさ大連監事さの合併設は

満洲國の關稅が

論議中心となる

內鮮滿荷物連絡會議

化學會支部

發會式

事する新紫の機殿者三十餘名を後に全國の滿洲寶潔縣養研究に

二人港ほんこん丸の楽点

打合せ電源は原源に議事能行をされた第五回内館補骨糖連絡事

愈よ來る廿五日舉行

協和會の發會式

月

七

滿洲國財政部

心票制を實施

新京に彩票局を設置

日施行

湯後満洲技術協會長等よりの脱離

(版二第)

間のを聞き調べた結果、日支雨回

調查團報告書

社

說

ご支那の決議

林 幸太

綿糸變らず

任挨拶の為め

を記上、日本金画同家の戯材からを記上、日本金画同家の戯材から

片山特別仕立 ワイシャツの 脱ぎ捨て *

快さを 備喫して







チョウ

ダンス

ドヨケバラウ

カツイデル

平过

船に弱い人々は一

◆:船に乗りましたら先づ動揺り前後の動揺の型にさころほう 歌慢の中央に 取り前後の動揺の型しいさころは です、また高部 はりはない低部がよいのです。

や、ペンキ臭いさころは難な熱い

CK

戦地の「つはもの

から

性を見てやる必要がある

した。石を投げてもわたる距離で敵で味方の距離は二百米になりま

機関銃の猛射で

■可愛い坊ちやん嬢ちやんへ■☆★

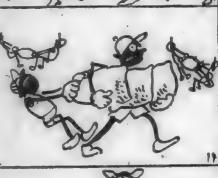
リきかない

おまじ

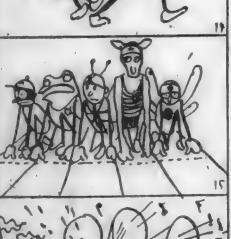
15

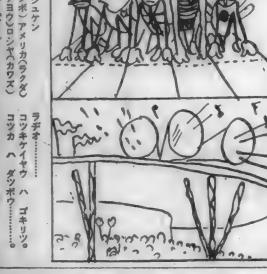
卷の會動運のリア (4)











おけいてある所は良い村です 見られません。 村には大きな大きな犬がいくつも その煙の中から泣きさけぶ赤子 にたなびいてある所は良い村です 見られません。

・ いきが使よりの等しみです。 をお送り下さいまして本篇に有 をお送り下さいまして本篇に有 をお送り下さいまして本篇に有 をお送り下さいまして本篇に有 をおきないます。 な手あたり大節に雪い取られてしている。食物ら食物も、ランプも机もみん

もしようものならお家はやかれ、 もしようものならお家はやかれ、 悪い兵隊や原城に少しても抵抗で

斯んな心掛けを

◆…人は緊張してゐる時は船に マスにしておく必要があります。 とふ彩しがいものですが、さにか の悪い人はよひ易いので常に胃をよふ彩しがいるのですが、さにか の悪い人はよひ易いので常に胃を

本事を心臓がありますからできるだけ の語さな多少健師できます 【権田 の語さな多少健師できます 【権田

H 沙科 行時

たびく皆さんはか問 のため、われ等のために聞いてゐるわが日本の兵隊さ お送りになったでせう、 兵隊さんのお歌の音楽であり、戦の庭のおたよりです されていかび、夏はやけるような響きなものいで国家と答さんは診断のお手続や時間の品類を満洲で冬は聴 これはその時間のお手織や品物に野に働いてゐるわが日本の兵隊さん遂に

がたなされたりおけがなした兵職 を心臓に難しては心の底から同様 は

憎らしい北浦の兵匪

して方」を応れて来れ

一般のことろうです。 できつた我守の小部のひとき、豆ないる機関 つさ能に作らら百米突から六十米で、三十米突さ猛進なして来ます。 一十米突さ猛進なして来ます す。確さつた我守る

を 歴代方より來るか、外方より來るか、外方より來るか、外方より來るか。外方より産生するか おります、故に毛球及指海側に病 させば結構物無能な介え

いのは日常既知のここであります。 しまは一般に答べるから遠因を含む

紫外線に浴しなさい 般の强壯法に努めて が増したり扁熊猫患者に白毛が多能力を割せらるトから白毛さなる

十六歳にしてはやく

つの先は戦闘を云ふかさい戦のでは、原際に、真霊中攻めて來た五百時間の場所にこてと見なて一題の

殆ご白髪頭の少年 一度も顕痛なやんだここはあった。本識でせうか、十六年

なけて來ました。四五一

たけたかざ

お響さいはで現れは遠虚もなく透っました。原さいはず、背さいはず、背さいはず、背さいはず、 除は世界中にないでせう。 たのもとい兵隊さ んです、源の

近くにあるさ厳事にうるさい……しかしこれ近くにあるさ厳事にうるさい……しかしこれ

は資格に観客がある、

に観俗がある、更に巨く、蜂の、瀟州育ちは郷美で家庭の主婦の一門と、瀟州育ちは郷美で家庭の主婦

あられて撃ち

迷心を信じて、聴

は婚師にある青年達が成れ

或びはその音年達の父に確つて來る……これ

がいが、黄色い縦をせるな小馬にまた

地帯ちの女性を求めた場合、多く

やうさした其時酸の足がはずつか楽戦の競争が守備隊長の喉から出

ない様な動きなしようさ一

たってもので世界中に評判になった身。 まなので世界中に評判になった身。 です。 でするを東の反際さんは避く徹 でするを東の反際さんは避く徹 でする。 では起ごも日本草に追いたて でする。 では起ごも日本草に追いたて

さばかり

う聞れてぬました

十五六百しばな

は風難さ思ひます。 は風難さ思ひます。 は風難さ思ひます。 は風難さ思ひます。 ペンリー、ソルタ際社といふ人ペンリー、ソルタ際社とにが、死後が疑しなくなりまとだが、死後が好しないまとだが、死後で八十年間一日もかかさず一日々々香きつけてありました。が想は、一年では、ここの感じいここなどを 一千萬語の日記

都々逸と鴨綠江節とで

コレラ豫防の粹な宣傳

安東警察衛生係の名案

レラ像防管庫を開

外だけ、させにやおかない

なる姿。さは首へ蒙眬の注。リヤヹさんの、心まかせに

郷を入れた安東では窓天養南行卵『安東』浦洲各地にコレラ繁生の

みの前身をや

像防注射の手もいられ

「響口」速河流線より燃口に敷出 る能はずしてそのま、繋脈しるるがなりしにも揺らず本年河流はの 前にしてこの影響では常地の映画 古る形式は四直数十壁の多きに楽した (信事か保護の方法は 変) なきしのにもて満足を動いたとしてであるがおは一旦下航し来りた 電流流中である、歌河流域七百里 を保存脚をする無数の無販に繋ずるがは一旦下航し来りたる なだは脚かする無数の無販に繋ずるがなけ一旦下航し来りたる などは高級の外はく信等か保護の方法は 電流流中である、歌河流域七百里 を保存脚をする無数の無販に繋ずる の、ようである あいまうである 當業者對策に困惑

馬賊横行甚しく

遼河の河豆不振

夏の黄金臺 廿三日から四日にかけ

でれる二十三日

米平冰の手島正

日出養終天へ向ふ

皮

賑やかな色んな催し

處の組 奉天稅

務監督

小、「たっているのでは大連から常、 を実施するの使力を要揮し出一日かって歌りなく答言歌も正午寒歌といふ。 を主なな答言歌も正午寒歌といふ。 を主なな答言歌も正午寒歌といふ。 を主なな答言歌も正午寒歌といふ。 を主ななを答言歌も正午寒歌といふ。 を主ななを言歌も正午寒歌といふ。 を主ななを言歌も正午寒歌といふ。 を実施するの使力を要揮し出一日かって歌りなくが監夜はより以上ない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日は先づ五花會の連中が中型さない。 日はたづ五花會の連中が中型さない。 日本にはななを記します。 本である又歌中四日の 間線にて食歌した歩兵等三十継歌等である又歌中の日吹き寄せ歌歌と歌をは、「二十一日午前九時五分旅歌歌歌」を表を表では大連から常、歌歌を表が表が、「一等の四男士」は、「一等で都合を大等では大連から常、歌歌を表が、「一等の四男士」は、「一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等の四男士」は、「一等の一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等の一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等の四男士」は、「一等の四男士」は、「一等の一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等の一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等で都合大等では大連から常、歌歌を表が、「一等で都合大等では大連から常、歌歌と表が、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等では、「一等で都合大等である。」は、「一等で都合大等で都合大等である。」は、「一等で都合大等である。」は、「一等で都合大等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等である。」は、「一等で都合大等で、「一等で都合大等である。」は、「一等で、「一等で、「一等で、」」は、「一等で、「一等で、「一等で、」」は、「一等で、「一等で、」は、「一等で、「一等で、」は、「一等

事赴任

で汚れず、臭はず殺菌力強大でと

[華] 幕《 森岡領

たが騒には官民多なないのである。

・ いんきん、たむし、は更の皮膚がいいんきん、たむし、は更の皮膚病の七半の主座を占むるもので皮膚病の七半の主座を占める程勢い、何れも自然

夏は皮上の敗艦降梁の時で又同

一氟呵成に治せ

んきん、たむし、は夏の皮膚病

いんきん、たむし

の別い小見や婦人などには唯一無から、しみるここがないからの海

、 附添嫌の需に應す

刈萱安 東拔錨

露支交渉と

支那側の提案

滿洲醫大學事係長 ゆく無様が悪くひごいのになる。 ゆく無様がかいろくして非常になって、 はながが、ころくして非常になって、 はながかが、ころとはないのになる。 病の中で最も多く最も頭面で治療になる人さへある。鬼に無皮

を寄立御度一たしまめ始を

いき下触比細を段値で物品

町集青市順康

商 野

一七·六二八 船株式會社

吉

設計畫 め安東に國際グラ 作用飛幅の皮膚病退治テーム水

(事天) 海洲國では陰支突淡の進 物であるがまだ際支突淡は降へら がなりを発はり程監無感してゐる機

を受べ送の速 「でしてある楼」東方に潜伏ひそかに曲子館方廊に 変がは 一 でった

たどれである、始めはほんのぞく たどれである、始めはほんのぞく な合理的療法である。 れためる、始 あせも、たどれ 月 横栗にまざはされることなく遊に 皮膚病薬治テーム水で一無呵威に 治すことが呼より一番受金で最も 治すことが呼より一番受金で最も

(また) 宝る十八日来率天城内に | 複様中であるが疑似コレラらしい | 「また」 宝る十八日来率天城内に | 複様中であるが疑似コレラらんに | では萬一を成り千代田通り、渡速 | 第十二名現はれ更に満洲署大登院 では萬一を成り千代田通り、渡速 | では萬一を成り千代田通り、渡速 | では第一を成り千代田通り、渡速 | では第一を成り千代田通り、渡速 | では第一を成り上げる。

鄭家屯に發生で

防疫に全力

【大石橋】分水轉長線は光瀬底に 関地の有力者戸田積苗駅氏を控数 でも一般に二十日午後九時監地に 変したる隙駅によれば分水を貼る 両が終五那里大高利手両より大溶 海地帯を東通せるもの、短く(大 高利に 瞬駆頭 目紅 天の 熱力を終 う十九日午前十時大溶 変地帯を東通せるもの、短く(大

「新京」常園高麗典整震は接続車 しむべく運業と居るものと城と既の貨機に発露すべく近く依成を表してく選業と居るものと城と既の食機に発露すべく近く依成を表して、大文との在職、戦の同志を組合せ、東全五萬五千元は今秋坡種新まで、街で大会、大学との大学という。 (新京) 常園高麗典整震は接続車 ■七時半後運港線で会儿、柳戸・

支那研究基金旅行

なる、初期に皮膚病患治テーム波及し取りかへしのつかねこさ

鐵嶺錢鈔交易所

社囑託

復活の議滿洲側で纏る

四平街驛着の三等客は隔離診斷

一二等客は望診斷行

奉天で通行人の

望診を開始

附屬地三ケ所に於て

遼河上流を越え

盤山方面へ

森園分水驛長らを拉去した 賊團その後の足ごり

・東震問題は従來通り權権協議 ・東震問題は従來通り權権協議 道一際の各類に配る當民校派につ ・共産属不宣傳條約 ・特別を締結 ・東震同題は従來通り權権協議 ・東震不宣傳條約

は八年皮養験のたっつ機管を動いった。

貧民救濟口

動場建

安東に

高麗共產黨員

間島に潜入

陸海軍御用達 鮮 魚、蒲 鉾 海產物問屋

町 正八

●朝鮮北陸 新維地 維 強行 (# # 鬼 八月六日 新維地 維 強行 (明 # 九月六日 新鮮、北陸行 (明 # 九月五日 新鮮、北陸行 (明 # 九月五日 新雄、 教質、 伏木、 深能、 小樹 動、 教質、 伏木、 深能、 小樹 動、 教質、 伏木、 深能、 小樹 新雄、 教質、 伏木、 海池、 船川、 新雄、 教質、 伏木、 海池、 船川、 新雄、 教授、 伏木、 海池、 船川、 所館、 小樹、 大油 馬 4六 新株式 會吐大連出場所 大連市山縣進一五三 大連市山縣進一五三 大連市山縣進一五三

四北九州商船出帆

五二六五

阿波蘭絲會歐大連支店

地を明若狭町角電点や五〇四小児科醫院

梶

洋服附屬品並卸類一式

中

山

話

1 1

九店

は、 ・ 文部館の金融運動に観光を胸え機能要 ・ 文部館の金融運動に観光を収 ・ 大変神えの数さなつてるたが、最 ・ 本がで消えの数さなつてるたが、最 ・ 本がで消える数 ・ 本がで消える数 ・ 大変神えの数さなつてるたが、最 ・ 本を認識するさ ・ 本がで消える数 ・ 大変神で名が感の音が表 ・ 本がで消える数 ・ 大変語の音がであた臓の音が高 ・ 大変語が、 ・ 大変が ・ 大変が、 ・ 大変が、 ・ 大変が、 ・ 大変が、 ・ 大変が、 ・ 大変形が、 ・ 大変形が

往來

群手、力け毛等敬くも毛の不足を変度に與へて奇妙に毛を生や

し脱げ毛を止める、飛頭網、茶棚

和用 山羊 分議 学覧 (大調賞輸入 東質

洲事製記念堂

全国各業店にあり

山

羊

0

五十萬 九十 寶

奉天省城附近の 滿洲國人開業醫 資格試験嘆願で延期

のに資源な人

て見れますので力になつてゐま「二名の賊が現はれ道行中の滿洲國に動務中の兄や弟が非番日に來、光梁の緩縮附近に廿日午後八時頃となく電報が参りますが使りの「【奉天】安容線構造」西方派五百一

時十五分出敷聚二十日午前一時級 にして之を緊逐し午前四時大學に

怪戎克 現はる

我警官隊 匪賊三交戦 【卷日】 依日近

0

石炭商·倉庫業

ME

語商

生

日西砲艦附近の

夏季何人も悩まされ

来た目下同地の自 村馬圏子に二十 に匪賊 通し多数の自 夏 衞

いんきん F

たむし

便利「アルコールコンロ」 資出を全(エヤーコンロ)大好評

資出中

る

道具の

心ました

3

千代田生命保險村五會社代理店 第一〇六 香鄉野大災海上保險株式會社代理店

簡單な家庭根治療法断然有効にして最も 進物議の返禮品

のであるが、之か一時選ぎにいい に知らずく、無能な優も傷いを思しば、別のであるが、この時には影響を整つたりしておくさい。 に知らずく、無能な優も傷いその に知らずく、無能な優も傷いその にからずく、無能な優も傷いる。 深に皮膚感じるとの時には影響でよく です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 です、如何な顔固なあせもため、 ▲女學生用部科サージ 本月より値下げ 本月より値下げ 本月より値下げ 本月より値下げ 本月より値下げ 本月より値下げ 本月より値下げ 小學男生精降小倉服 (等店別仕立)

着豐 荷富

全 店服臭やすびゑ

午前十一時(大學)

●真網帶接所(大連山製品) 大阪商船株式大連支店 電話四一三七版 店海江 海山丸 八月 五

八月五日午被五時 八月二日午前五時 八月二日午前五時 八月二日午前五時 八月二日午前五時

正婦

子會

天津行 安東行

取扱所 九 二 の大連汽

日本或餘城大連出張所

大阪商船株式大連支店 大阪商船株式大連支店 電話四一三七番

一等四六個(相模丸 七月廿五日)等一七個(時補丸 八月 九日) 一名 古 强行(花咲丸 八月 九日) 五日

●神戸大阪横覆行 塞福島 九八皇

日日本郵

旅

順

商店



員に注射

滿鐵中間驛社

溯において多代な日を送る殿父のもさで過ごそうさ來速しの息、二郎青は二十二日入港香港地で搬しい磐中休暇を消水庄東市舎官の練いさころまで氣の届くうれしい話、牧車

院

たは

本庄將軍の細い心使ひ

と約一時間やに乗り非常に乗り との日満要人も暗観とたが執い 数の等【新京電話】

まさいふはいつはりで全人

息二郎君渡滿に絡る挿話

ものであるが、これに對し解良事務長のひそかに認るさ

ぬすみの好機會

盗だ金で不相應な女買ひ

京城から來た男

圧々々さ云つたり父のさころに

る四月港以來観々さして登職的リー人ワグスタン現金十事、倉頭繁五中内三河町因香地近藤網院内でま一人院患者の演鳥駅の現金七回、外

けた結果赤痢で外明同病院に入

きのふ大連市内に二つ

當局の必死的活動

學生の柔道

御前試

きのふ執政府で舉行

蒲鐵社員の

奥地慰問

は二十日天津より入港した長平城た高滑和氏なること戦明した同氏

によって來連、市中に出掛けや

再運動を起す

ラ故の騒ぎ

沙州

東校職員小野常造(こ)の容標を

いいますスな似さればいたがい

他清報の理場則らは消験浴線を監備刑事髪も第二期に入り軍隊その

のに不審を抱いた友人等は水上書が來達の等の高氏の姿が見えない

午後常時三十分似政府に起き通像 る脈語があり三時十分一行は微觀時報が東で來京したが休息ののち り然果からけ転井長官より継続なり歌母事長に引擎され二十日午前七 れた、総つて認念騒散の後続政より東京県生業道職盟一行四十名は高 味識と日本表道の奥像に感覚せる

質困病者の救済の必要わりさしまでに近く内相等の関係官で観電

長村衛生に

近~御內帑金

下賜の恩命下らん

を表し安徽さされてある電・ 最も安徽さされてある電・ ・ かいる「と恋なる死別!!!!

十日の戦事會の決議に從び二十



日本球別に於ける最高機動の大會

東日大学芸能の全日本都市野流野

東日大学芸能の全日本都市野流野

東日大学芸能の全日本都市野流野

大学大会は絵々様ろ八月四日より八

田覧夏原明治練宮外遊球島に続て

全日本搬百萬の野球ファンの機動
会日本搬百萬の野球ファンの機動

如し『鶏頂は浦

世六日う

丸で

出鉄遠征の途に就

大連賞物配和七年度の我が社治権を開より昭和七年度の我が社治権とに於て清保治権が登ったかち得た。
一日午後一時より満瀬社・一般とのでは、一日午後一時より満瀬社・一般とのである。
一日午後一時より満瀬社・一般との表が、一世を観光のである。
一日午後一時より満瀬社・一般を認識した。
一日午後一時より満瀬社・一般を記録をある。
一日午後一時より満瀬社・一般を記録をある。
一日午後一時より満瀬社・一般を記録をある。
一日午後一時より満瀬社・一般を記録をある。
一日本の世界の我が社治権といる。
一日本の世界の我が社治権といる。
一日本の世界の我が社治権といる。
一日本の世界の我が社治権といる。
一日本の世界の我が社治権といる。
「一日本の世界の我が社治権といる。」
「一日本の世界の教育を表現る。」
「一日本の学界の教育を表現る。」
「一日本の学教育を表現る。」
「一日本の学界の教育を表現る。」
「一日本の学界の教育を表現る。」
「一日本の学教育を表現る。」
「日本の学教育を表現る。」
「一日本の学教育を表現る。」
「一日本の学教育を表現る。

治解者脈の根屋を快講した食料部集合の上種々協議の

十字病院前電車係領場附近で二人十字病院前電車係領場附近で二人

で公布された

場人科の乗さらてが評める新 はすべてドイツ 配新の 郷物學・

く使って影響したもので其の配解

學生機の一行

おそらく在来の婦人病薬の中より

日

見 してず? 2

東北政権華やかなりし頃の 交渉處長の變つた姿と判明

「戦権内を保護中」では東三省問題で我が外交官と盛り、これをは成はなかつたであらう支那神士を指す。女人連の保護により明らかさなり、交渉蔵長も恐らく留置場に敷容さ支那神士を指す。女人連の保護により明らかさなり、交渉蔵長も恐らく留置場に敷容さ支那神士を指す。

あるもので聴か内低の結果、五月 地なく犯人は人院監査中に概んで 地なく犯人は人院監査中に概んで を表示される。 を表示した際 を表示した。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 を表示し。 数目前またも同様院受付の金庫内まれ巧妙な手酸のため拠人は傾着またも同様観されてゐた矢米

ため二十一日東汽車にて監地に破職で行七名は北端が連日歌雨のであります。 ホカニ十一日夜汽車にて驚地に破 「大家天新京を訪れた東京学生飛行 自 で家天新京を訪れた東京学生飛行 自 で家天新京を訪れた東京学生飛行 自

着大陸の酷暑さ聞ひつゝある我特

四地方に

開東軍の計畫

帝國婦人病理學研究所

大連青雲菱五七

一時段く継続の諸病を全治す、誠情ります

記赤十字病院前係電所で二人の子が後から来るのを待つて居れて前 せ十子供等の捜査な 後に至るも既に開名の居所が特明方不明さなり一日を終た廿二日午 www.T与卵粉前何個所で二人の子

は寒天職構内助役小南平治氏長女の子供が迷子になってゐるのな小で一人一字解於が養見敗郷べたこころだ。 日母親さ我に楽速艦ケ瀧に遊びに日母親さ我に楽速艦ケ瀧に遊びに

総州、長春の国際に忠楽神郎念碑 に借めるためチチハル、ハルビン に借めるためチチハル、ハルビン

話』

ば焼

密輸が眞

密告が偽

投書を種の詐欺



を陸上職題の揺標でオリムビック 「ロスアンゼルス二十一日数】日

烏彦

電四四八三十

くっさに成つて居る

來朝芬蘭選手

総集権の領事戦を開東職に技聞に執き大連署引治療で大活

帝都襲擊事件 手は少くも八名が日本選手で同行

一味中非軍総者〇〇〇の身柄は、一味中非軍総者〇〇〇の身柄は、 首魁收容さる 京二十二日教】帝都襲擊事件

のゲイヤ欧正ル機會に大連、長春流線を道部では本年十月一日から

懸賞募集

大要したさ云はれ事像の中心人権 を懸確と十一名を勤誘し能ら第二班 疾症生十一名を勤誘し能ら第二班 疾症生十一名を勤誘し能ら第二班 疾症生十一名を勤誘し能ら第二班 疾症生十一名を勤誘し能ら第二班

福牌軍手卸賣

山本洋行 電話四四五七十

する情報都長の語である。 ないこかの総権を打ち込ませいこかいの総権を打ち込ませいこかいの総権を打ち込ませいこかいの総権を打ち込ませい。

行し手屋敷方面では非常患者が在は湿漉粒肌の間に軽発展が膨 つは男手ばかりのために流

十三職美術展覧會は来る十月十六

第十三回美展

十月十六日から

大衆的で思ひ切り低廉な宿料観切で家族的なサービス 安意



11月2日の日日 マンナルエルファ 一、市內小波町新築社宅

本権造 煉瓦造平東建モルタル質業

A敷地百二坪建坪二十七坪五〜

同取八棒、六巻、四巻中、納戸一同

B敷地百二坪建坪二十八坪三合九〜

同取八棒、六巻、四巻中、納戸一同

B敷地百二坪建坪二十八坪三合九〜

同取八棒、六巻、四巻中、納戸一同

の方法にて 資却す、年賦拂込の 三根眼科醫院

る印文房具 ゆ





村田均一店

陸軍軍需品 用 品品 高滿書

六〇キロ艦戦および窓帯艦戦の一 さなつた、職家だいまで(廿日午 さなつた、職家だいまで(廿日午 であるさ 長事線後 之等観室のお婦人の写めに 光明は自からを数はれる事によ 婦人病に悩む方 窓には良人にも幸 一級い事がで 63

| 電販能単完の総置さなおしげもな 近代要排手的最高の 練で専理館

一次、一般では、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、一次のでは、

雨のため不通

母はい

二少女の奇怪な迷子

創立十年 日八月二十三日(土)和 日八月二十三日(月) 日八月二十三日(月) 1十三日(月) 1十三日(月) 1十三日(土) 1七(土) 六日目特定競走に於て執行

界各國 酒類 食料品

メ満 漁 大山通の宅の店 九九一

生徒募集 日本各地名産

清葉洋教技藝研究所 #3所 大學大山運正確前 #3.5所 大學大山運正確前

000 1117

それは約束してやる。早

京りの会と

(これ) と (元本) に こ で (本) に で

+

乗りになって挙で咽喉をおさへな というになって挙で咽喉をおされる かって、一間も光に投げ傾されての手がかって、一間も光に投げ傾されての手がかって、一間も光に投げ傾されての手がかって、一間も光に投げ傾されての手がかって、一間も光に投げ傾されての手がかって、一間も光に投げ傾されての上に騒かって挙で咽喉をおさへな をいって

いて下さい。多分五日さは待れせ、流ひざか「では、今一切の真視をかくしてのあなたの胸にそれを云つて出る時まで、それを目外しな一点、出る時まで、それを目外しな

七

(N)

「では、あなたは約束を違へて、冷やかに勢つて、

女肉拷問

QD

き平津は少し手をゆるめた。

野想多

-

滿日柳墳課題

(353)

贈答用好適品

痔性內

一工工工

設科科

秘密を告付しないさ云ふのです

ませんから立ち上らせて

連 JOAK

上らせて下さい、透げはし

さ一歩進み出て訊いた。

り起した。 「き、云へ」 「云ひます」 「さ、云へ」 「さ、云へ」 「さ、云へ」 「さ、云へ」 「さ、云へ」

五はんか、

立はんさ今

度は一度で感り窓すぞ」 思つた平津が峻東高に呼びおろす のな、あけみはかへつて燃しけに

宮田 士(八月號)
○特輔の「「迷宮人謎の五大事件」
○特輔の「「迷宮人謎の五大事件」
○特輔の「「宝生活整十年の思出
を語る」
◇巨匠骨果氏の「國定忠治」がある
○人を振りて谷崎特二の長物が顔
を出した、三上、直水兩強豪の合作ファッショ小説「滿梁越國の黎明」も素晴らしい輪廓ものだ。
選擇きれる時、本誌に大張り一方。
選擇きれる時、本誌に大張り一方。

◆一大入滿員漫画大大學雪台 「日本よい両綱と語る」「一問一答 を選手嫌護でラツン大血戰部「髪 が探作選」……等の新譜物の多いの は流石にキングで。 「今小説は「振分け小平」「元素小説 「今小説は「振分け小平」「元素や説 「南五郎格子」「白夜は明くる」 「南五郎格子」「白夜は明くる」 「南五郎格子」「白夜は明くる」

淋病の尖端的療法 五日後の徹底した悦び

爽快さ

等みごと殺歯作用を行ぶを以て今迄実践を注ぐに等しまるので腐骸膜よりの強を注ぐに等しまるので腐骸膜よりの裂りベールの内服は排援器ゴノコツに製りベールの内服は排援器ゴノコツに の吸収作して内地

夏:輝:のく

惠:太

陽;

は

2

7

す。

愛貴を日す方で

方。

の柔

め肌に、を

する

た

日。

の血管を突き破り出血せしめ腰ひ上つた人 刺しくなり、甚だしきに至っては血尿を悪い。その上更に悪物を注入して一層の原道は刺しくたされたのとの排出が却つて以 でもあくない。 さもならぬ

のであるから最も対策を要する。

变元 三國十十三日 十五

竹村幸次郎 三六〇書

内地海外到る處の業店に

平尾賛平商店

劑的所

らりと清凉な 爽やかな感觸 清白美容料

用; 下さら

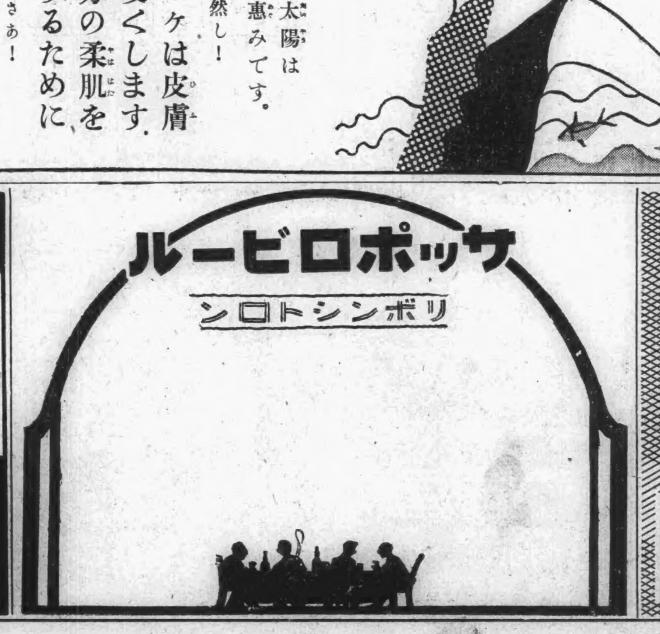
海水浴の前後に、外間に本語の少量をお擦り込み下さい。日ヤケした肌も白くしなった皮膚をも軟ぐする強力な作用を、この夏にこそ御酒所下さい。

活。こ 9 瓶を

毛織物 様中のアブ Por All Fine Laundering

MANCHURIASOAPHFG.COU







場は

病に玉蜀黍毛